

2007年7月号

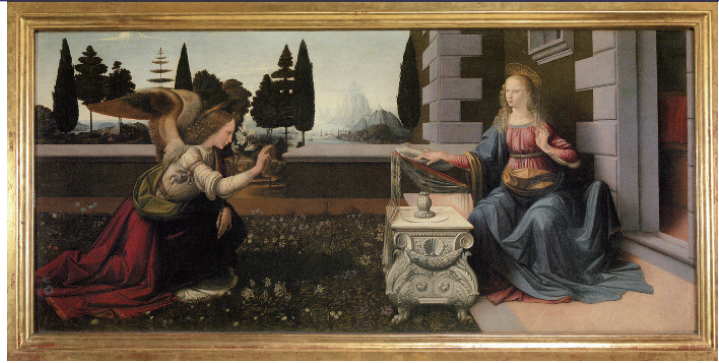
中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1

Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成19年7月1日



受胎告知 レオナルド・ダ・ヴィンチ

広報 なかわだ 第336号

7月の予定

委員会	7月1日
ヨゼフ会例会	7月15日

委員会だより

△6月3日(日) 9名出席▽

■小林主任司祭あいさつ

＊平日ミサ(主日のミサにこれない人のため、祝日に「是非ミサに出たい人のため」アンケートを取りたい。

(委員会)【事務グループで「広報なかわだ」6月号に綴り込み調査中です。】

＊横浜教区召命錬成会(男子、小5～中3対象)が、今年は7月31日(火)～8月3日(金)裾野市不二聖心女子学院山の家で行われ、私(小林)が、行き返りとも引率します。両親や推薦者の声を聞いて、申込をしたい。

＊2007年4月発行の「司教教書」が発行された、前三部も入手しました。

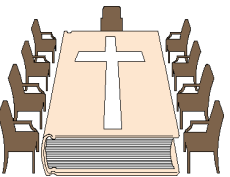
各グループで読んでいただきたい、「祈る部門・宗教する部分」をどのように育てたら良いか」話し合いをしたい。

＊「聖書の分ち合い」週一回信者対象のグループを持ちたい。内容・原則として、聖書と典礼の聖書箇所のみ合い。

開始時期…7月か9月(希望者の意見を聞きたい)

(委員会)【宣教グループを軸に検討して行きます。】

＊病気の信者への「訪問と聖体授与」の機会をどのように設定できるか。(委員会)【福祉グループを軸に検討して行きます。】



主任司祭 小林 陽一

召命錬成会の中学生



平成18年8月、私は2人の浜松教会の中学生(男子)と電車に乗り横浜教区召命錬成会の会場に向かいました。午前10時頃沼津駅で途中下車して、野球帽の買い物をしようと商店街を1時間歩きましたが、洋品屋さんはありませんでした。しかし、沼津西武デパートの5階で帽子売場を見つけ、3000円の野球帽をデザインが恰好いだけの理由で買いました。一人の中学生が帽子を忘れてきたため、やむをえず買うことにしたのですが、あまりにも高価すぎて、帰りに本人の母親に「3000円の帽子を買ってしまいました」と言ったら、しぶい顔を見せられました。

その後、3人でレストランで食事をし、御殿場線の電車に乗り、不二聖心女子学院の山の家に向かいました。錬成会会場の山に着くと、若手の神父様や神学生が受け付けを開始していました。この時、中和田教会から参加した人も見えていたと思います。小学5年生から中学3年生まで、10人以上の人が集まると、にぎやかで活気がありました。何より嬉しかったのは、神学生たちが本気で参加者と遊んだり、会話をしていたことです。

4日目の最終日に、私は浜松の中学生を迎えに行きました。司教様が錬成会最後の昼食の席についておられ、参加者となにか話しておられました。浜松の中学生2人は、疲れた感じはありましたが、元気でした。4日間宿泊して、召命錬成会の参加者はすっかり打ち解けて、浜松の中学生の一人も、他の参加者から名前を呼ばれて冗談を言われたり、楽しそうでした。大和教会のザラテ・ボブ神父様が一人の中学生を迎えに車で来ておられました。錬成会解散の時、若手の神父様方が「来年、この錬成会に来てね」と言ってお別れをしていました。

1975年頃、私が神学生だった頃の召命錬成会は、30人近い参加者を迎えていましたが、厳しくしつけるこわい錬成会でした。場所は、その頃も今も全く同じ。しかし、今の召命錬成会は真面目ですが、楽しくあたたかい錬成会です。召命錬成会は、参加した人達がキリストに出会えることを目標として進められており、イエズス様の愛が召命錬成会の場で少しでも実行されるように皆が努めている・・・外部から錬成会を見ている私にはそんなふう感じられました。浜松の中学生を召命錬成会々場まで送っていく仕事は、司祭の私がやらなくてもよい仕事かもしれません。でも、小教区の教会で、めったに中学生と話し合いなど出来ないほどの忙しい仕事を抱えている私にとって、4時間半を若い中学生と一緒に行動できることは、「楽しい」の一言に尽きます。

■連絡事項・行事計画

＊6月10日(日) 堅信式

＊洗礼式…6月3日(本庄蘭ちゃん) 6月17日(保科春希ちゃん)

■審議事項

(1) 堅信式の準備

☆受堅者

＊7名。

◆テレジアマリア森脇留美・ドミニコ石井大河・アロイジオ石井拓真

◆マリア、フランシスカ石原知世・ペトロ石崎雄太

◆イエスの聖心のラファエラ美底沙

織・ジュスト武石勝末

☆ミサと堅信式

＊ラファエル梅村昌弘司教・小林陽一主任司祭の司式。

☆分ち合い(祝賀会)は聖堂で行う予定。

■各グループ連絡・報告事項

(1) 営繕G…

＊食堂ガスレンジ取替(5月29日 済)・・・電話機取替(6月8日予定)。

(2) 典礼G…

＊聖体奉仕者研修…第一回研修5月27日三名参加、第二回研修6月24日予定。

＊「信徒の皆様が参加できる時間に

ミサ司式」アンケート

＊「広報なかわだ」6月号に綴り込み、皆様のご意見を聞いています。(6月

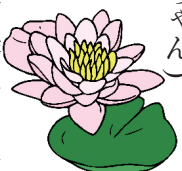
月末締め切り予定)

(4) 行事G…

＊バザー委員会を発足させ準備に入りました。

(5) 宣教・要理G

＊一粒会総会(10月5日聖園女学院)



に向けて第五地区で検討中。子供関係の行事も6月10日大船教会で打合せている。次回打合せは7月8日14時より中和田教会で行われる予定。

＊小学生対象「夏合宿」7月21日～22日予定。(中学生対象は検討中)

(6) 福祉G

＊引き続き、中和田教会の信徒の皆様が個別に行っている福祉活動の全貌を纏める作業を継続する。

＊「地域奉仕福祉・病者訪問」等は、神父様の指導に基づき、皆様とディスカッションして行きたい。

(7) 事務G

＊女子パウロ会の書籍販売

◆5月27日集会室にて実施しました。お買い上げいただきありがとうございました。

■その他

＊管理・運営奉仕者養成コース

◆5月26日小野委員長参加・次回6月23日予定。

次回 7月1日



07年6月委員会後記 小野委員長

6月は、3日と17日に洗礼式、そして10日には7年ぶりに梅村昌司教様をお迎えして堅信式が挙行され、中和田教会にとって嬉しい行事が続きました。次世代のカトリック教会を担う若い世代の誕生、

そして自らの信仰の決意を誓って聖霊を注がれる場に立ち会えたことは中和田教会全体の大きな喜びでした。受洗、受堅された皆さんに心よりお祝いを申し上げます。また、諸準備のために多大なご奉仕、ご協力を頂いた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

■昨年8月6日に中和田教会にて、「一粒会、神学生と子どもたちとの交流会」が開催され、盛会裏に終えることが出来たことはまだ皆様のご記憶に新しいことと思います。

この成功を踏まえて、本年10月8日に聖園女学院で開催される一粒会総会でも子どもの行事が企画されていて一粒会中心で準備が進んでおり、中和田教会からも宣教／要理／教会学校の皆さんが深く参画しておられます。皆様のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

(月例の準備会議が、7月8日の午後中和田教会で開催されます)

■月既にご案内の通り、本年度から福祉委員、福祉グループが新設されて、中和田教会としての福祉活動の取り組みが始まっております。

一言で福祉といっても、その範囲は極めて広く、また既にいろいろなご奉仕活動をやっておられる方々も多くおられます。これから小林神父様ならびに福祉委員を担当されている山本さんを中心に、皆様とディスカッションを重ねながら方向付けや活動の具体化を進めていきます。皆様のご参画を宜しくお願い申し上げます。

神の愛の宣教者会での活動

美 底 沙 織

5月の連休に、私たちは、東京にある“神の愛の宣教者会”という女子修道会を訪問しました。この修道会を設立したのは、ご存じの通り、インドのカルカッタで働いたマザー・テレサです。私が訪れた所にも大きなマザー・テレサの写真が飾られていました。

混み入った住宅地の中にその修道院がありました。入り口のドアを開けると、もう既にシスターたち2人と数人のボランティアさんたちがお弁当を作っていました。弁当というのは、池袋の公園で毎週金曜日にホームレスの人々に配るためのものです。今回、ボランティアの人を含め、お弁当作りに参加した人は11人でした。この日は500個以上のお弁当を作りました。

そのお弁当作りに、私たちも参加しました。ご飯を盛ったり、おかずを入れたりしていきました。最初は「これやって」と言われたことをやっていたものの、徐々にシスターやボランティアさんと仲良くなっていき、「これやりましょうか」などと自分から行動することができるようになりました。差し入れのパンケーキや飲み物を間にはさみながら、一つ一つ丁寧に、このお弁当を食べた人が元気になるようになど願いを込めながら一生懸命作りました。作業はもちろん手作業で、立ちながら作るので、きつとみんな足が痛かったと思います。3時間以上かけて、やっと全てのお弁当を作り終えました。けして豪華なものではないけれど、ちゃんとおかずが3種類ずつ均等に入っていて、お茶碗一杯分のご飯が入っていました。バックに入ったそのお弁当をダンボールに詰めて、いよいよ池袋に配りに行きます。私たちの予定では、ここで体験は終了だったのですが、どうしても自分が作ったお弁当を自分の手で相手に渡したいと思ったので、配給の場所までついて行くことにしました。

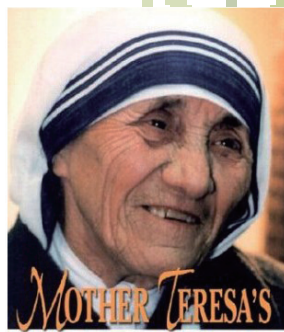
もう夕方になりかけている頃で、私は少しドキドキしながらお弁当を配る公園へと車で向いました。公園が見えてくると、大勢の人々が4列になって公園に並んで待っていました。こんなに多くの人がいるとは思わなかったもので、思わずあつけにとられてしまいました。車から降り、配るための用意ができると、神父様がお祈りを始めました。一般の人もある公園の中で、沢山の視線を感じながら、私たちは手を合わせて祈りました。不思議な気持ちになりました。また、このボランティアをするために、いろいろな人が混乱を防止するために協力してくれていることを知りました。感謝するべきだと思います。

配給に集まった人たちは、順番に2列に並んでお弁当を受け取るようになっています。配給活動が始まり、私と妹はバナナを渡していきました。私は一人ひとりにまず「こんにちは」と言い、渡すときには「どうぞ」と言って渡していきました。たったその一言だけだったけど、もらった相手が「ありがとう」と言ってくれたその一言は、自分が言った言葉が倍になって返ってきたように感じました。その「ありがとう」を何回聞いたでしょう。小さな会話を沢山交わすたびに、最初は「少し怖いな」と思っていた感情も、「みんな私と同じひとりの人なんだ」ということに気づき、「怖い」という感情が徐々になくなっていきました。

この配給後にドヤ街にもついて行くことになりました。別に作ったおにぎりと、余ったパン等をそこで配りました。ドヤ街では、道端に座りこんでいる人もいて、ボランティアをしている私たちにいろんな話を話しかけてきました。私は、それに相づちをうつことくらいしかできなかったけれど、私がいちばん嬉しかったことは、私たちもカトリック信者だということを知ると、私に「俺も聖書を読んでみるよ」と言ってくれたことです。たとえ本当に聖書を読んでくれなかったとしても、ボランティアをしている私たちを見て、一瞬でも神様を信じてみようと思ってくれたその気持ちが嬉しかったです。私は、もっとそのおじさん達の話聞いてあげたいと思いました。

また、いちばん悲しかったことは、私たちがその活動をしているときに、見ないふりをして横切る人のことです。私は、ホームレスの人は食料よりもむしろ人間としての存在とか愛とか、そういうものに飢えている気がしました。

私たちの生活の中で、何気なく見ないふりとか、見ないようにしているものがあるなら、それはただの冷たさなのではないでしょうか。逃げているのかもしれませんが、もっと愛をもって生活をする、それがマザー・テレサの人生です。



おめでとうございます！

洗礼式

2007年6月3日
本庄 蘭ちゃん



2007年6月17日
保科 春希くん

堅信式

2007年6月10日 梅村司教様をお迎えして。7人の皆さんおめでとうございます。



行事グループからのお願い

年半ば、行事Gとしては、復活祭、堅信式後のパーティー等、仕え合うぬくもりのうちに終わられましたことに感謝申し上げます。

後半はいよいよバザーに向けての活動となります。

バザー担当Gを中心に月一回の集会を設けております。糸と布と語らい、友とも交わる心温まる一日です。どなた様もご参加下さいますように。

次回 7月4日(第一水曜日)

なお、これまでの新品雑貨、中古衣類、手作り品等の御提供(9月末まで)も引き続きお願い申し上げます。

行事委員 石川 雅子

